

【九月】お題「宇宙」・「ひそかに」・「オリンピック」・「パラリンピック」

月間賞

万華鏡のぞけば光る輝きが筒の中にみえた小さな宇宙

一―二 工藤瑚々

第二席

澄み渡る夜空に咲いたコスモスの花あかく光るはアンドロメダ
億千の星がまたたくミルキーウェイさあ行こうよ銀河鉄道で
葉も落ちて金もくせいの香る町ひそかにせまる秋のおとずれ
あなたが恋をしているその横で私はひそかにマンガを読んだ

二―二 安倍くるみ
二―三 三浦明音
一―三 谷代乃々
三―二 佐々木珠莉奈

第三席

たくさんの緑輝く木の中にひっそり見える赤紅あかへにの葉が
就活に全力そそぐ学生の瞳の中に無限につづく宇宙が広がる
とおい空に無限に広がる星の数私の頭の中と重なっている
コロナ禍に晴天の下ランナー駆けるみんなの夢を聖火に乗せて

一―三 鎌田萌々夏
三―一 釜石柊那
三―三 櫻田侑子
二―三 安倍みらい

優良賞

障害を力にかえる選手達メダルより光る選手の笑顔
大宇宙最果ての壁突き抜けて無限に咲くはひとの心よ
コンビニにひそかに咲いたひがんな端にいるのにきれいでほれた
空き瓶に願いをこめた星たちがひそかに会議叶えてくれる
暗い海ひそかに昇る願い星輝き照らす私の夢だ
高い坂スケボで滑り大ジャンプ十二の心世界にはばたく
たくさんの星や惑星見て知った永遠とわに続く宇宙のことを

一―二 工藤瑚々
二―一 早坂爽汰
一―一 高嶋明衣里
二―一 荒木舞優
三―一 廣瀬亜美
二―二 安倍くるみ
一―三 鎌田萌々夏

佳作

「いけ日本！」身を乗り出してさけぶ夏その向こうには金の輝き
満月を見上げ歩く細道にひそかにひびく虫の鳴き声
声すら届かぬ空の上で無数の星々ひそかに瞬く
夢があるだけど誰にも教えないみんなあるはず夢はひそかに
青りんご太陽あびて色染まるひそかに心君色染まる
ただ一人宇宙の中でうかんではかいしたのはウチの弟

一―三 谷代乃々
一―二 工藤瑚々
二―二 熊谷 快夢
三―一 鈴木浩虹
二―二 小嶋美香
一―一 高嶋明衣里

今回は、一年生の活躍が際立ちました。「ひそかに」や「宇宙」というお題は、少し難しいかなと思っただのですが、さすが岩高生！力作が多数提出されました。第一席の工藤さんの短歌は、万華鏡の神秘的な美しさを「小さな宇宙」と表現して、読み手はその世界に引き込まれます。宇宙への扉は身近なところにあるかもしれませぬ。(石)